

この夏休み、私と母は事前に申請しておいたマイナンバーカードを受け取りに、一緒に区役所へ行った。とても混雑していて、私達は半日かかりでようやくカードを受け取ることができた。

うさぎのキャラクターのこのカード。果たして一体何のために必要なものなのだろうか。せっかくの機会なので調べてみた。

マイナンバーカードは行政や税金に関する事務の効率化などを目的に作られたもので、特に大きなメリットが、e-TAXを利用して自宅や事務所から確定申告などの税の手続きが可能になることだ。

そういえば、先日、母がスマホを使って自宅から確定申告をしていた。ふるさと納税や高額な医療費の支払いなどをすると、確定申告をすることで、お給料から天引きされた所得税が還付してもらえそう。

「忙しくて税務署で手続きできなかったからイータックスのおかげで助かったわ」

と還付金を手にした母は喜んでいて。なんと、母は三年分の申告をためていたらしい。

「事前に税務署で本人確認をしてもらって、IDパスワードを登録をしてもらえば、マイナンバーカードがなくても、e-TAXの確定申告作成コーナーを使って確定申告ができるから、便利になったわよね。」

母によるとこの方法は暫定的で更に色々なe-TAXのサービスを利用するためにはマイナンバーカードが必要になるとのことだ。

なるほど。インターネットを利用して税金の申告などの手続きができれば、税務署に出向く必要もなくなる。コロナウイルスで外出自粛の時でも安心だ。また、紙を使わなくて済むので資源の節約にもなる。

「それにね、e-TAXから申告すると添付する書類も省略できるしね。」

インターネットの利用で手続きが便利になったので、母も重い腰を上げることができたようだ。

小学生の時受けた租税教室で私たちが平等でよりよい教育を受けられるようにたくさんの税金が使われていることを学んだ。そして一番多くの税金が使われているのが医療や年金などの社会保障費である。高齢者が増え、働くことができる若い世代が減少し、国の借金は増え続けている。

今、私はまだ中学生で、二才の時から始めたバレエに夢中だ。大人になったらきっと確定申告をするだろう。その時どういう社会になっているだろうか。将来のために勉強を続け、少しでも少子高齢化の社会を支えていける大人にならなくては、と思った。

一人に一枚のマイナンバーカード。このカードで税金がより身近なものになり、税の使い方や社会について考える機会になった。

この小さなカードには、大きな未来と可能性がつまっていると感じた。